

私情協 ニュース NO. 1

平成28年度ICT利用による教育改善研究発表会 受賞者決定

1. 本発表会の趣旨

本発表会は、全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT活用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的とする。優れた発表に対しては、文部科学大臣賞（最優秀賞）、協会賞（優秀賞）、奨励賞を授与し、その教育業績を顕彰するとともに、本協会ホームページに掲載、公開する。

本発表会は今年度で23回目となり、これまでに文部科学大臣賞5件、協会賞32件、奨励賞46件、佳作4点を顕彰してきた。なお、本発表会では毎年度、文部科学省の後援と文部科学大臣賞の交付が認められている。

2. 選考方法および結果

今年度のICT利用による教育改善研究発表会は、平成28年8月9日に東京理科大学森戸記念館で開催し、人文、社会、理工、情報、医療系の分野から37件の発表があった。選考は、「教育上の問題解決を図るために、ICT利用による教育改善の目的・目標が明瞭になっていること」「ICTを利用した教育改善の内容と方法が明瞭になっていること」「教育改善の効果が示されていること」を基準に行い、授賞選考委員会により5件の研究を選考した。その後、9月24日に行った2次選考の結果、「奨励賞」1件の授賞が決定した。

表彰式は、11月25日に本協会の第17回臨時総会の冒頭に行い、文部科学省高等教育局専門教育課の浅野淳行課長による来賓挨拶、ICT利用教育改善発表会運営委員会の宮川裕之担当理事による発表会の概要説明と本年度結果報告の後、本協会の向殿政男会長による奨励賞の表彰楯の授与を行った。受賞者は次の通り。



左から本協会宮川副会長、文部科学省専門教育課 浅野課長、
受賞者の北海道医療大学 二瓶氏、本協会 向殿会長



本協会 向殿会長



文部科学省 浅野課長

平成28年度ICT利用による教育改善研究発表会 受賞者

奨励賞

■ 「ICT活用による能動的学修支援と学修成果の可視化を融合させた 教育改善の実践」



北海道医療大学
薬学部
二瓶 裕之氏



北海道医療大学
心理科学部
西牧 可織氏

<授賞理由>

本研究は、能動的学修を全学的に推進するために、電子シラバスを開発して毎回授業の到達目標や事前・事後の学修課題及び資料などの学修情報を一括提示し、ICTを活用して学生の学修行動をモニタリングして学修成果を多角的に可視化、フィードバックすることで学生・教員に振り返りが可能となり、反転授業と協働学修を組み合わせた学修成果の改善、知識修得に向けた主体性の育成につながる教育改善が見られた。